

第4回 新居浜市市民文化センター基本構想市民検討委員会 会議録

- 1 日時 令和5年1月24日（火） 14時00分～16時00分
- 2 場所 新居浜市市民文化センター別館4階 大会議室
- 3 出席者 委員 井田委員長、篠原副委員長、合田(定)委員、妻鳥委員、戸田委員、北岡委員、高橋委員、小野委員、塩田委員、原(孝)委員、田坂委員、合田(史)委員、中野委員、篠原(和)委員、後藤委員、奥本委員、好井委員、黒下委員、伊藤委員、近藤委員、濱田委員、梶本委員、原(恭)委員、福本委員、加藤委員(25名)
- アドバイザー 木村 勢津 (愛媛大学名誉教授)
- 宮崎 節二 ((公社)瀬戸フィルハーモニー交響楽団理事・音楽家)
- 事務局 新居浜市文化スポーツ局長 佐藤、文化振興課長 中沢、同課係長 高橋、同課専門員 桑原
- 支援事業者 (株)日本総合研究所 富樫
- (株)いよぎん地域経済研究センター 山之内
- (株)矢野青山建築設計事務所 矢野
- 欠席者 大西委員、尾崎委員、久保委員、鈴木委員、佐藤委員 (5名)
- 4 議事 (1) 基本構想(案)について
- (2) その他
- ・基本計画策定に向けての要望について

事務局	<p>それでは、定刻がまいりましたので、ただいまから、第4回新居浜市市民文化センター基本構想市民検討委員会を開催します。</p> <p>本日は大変お忙しいところ、ご出席いただきましてありがとうございます。</p> <p>まず、本日の出欠状況について報告します。</p> <p>遅れてご出席いただける方もいらっしゃると思いますが、委員総数30名の内、現在、出席者は24名いらっしゃいますので、本日の会議の成立要件を満たしています。</p> <p>また、本日は、愛媛大学名誉教授の木村勢津先生と、瀬戸フィルハーモニー交響楽団理事の宮崎節二先生のお二人に、アドバイザーとしてご出席いただいています。どうぞよろしくをお願いします。</p> <p>本日は、パブリックコメントとして市民に公表する、基本構想(案)の最終確認をしていただきます。前回の皆様からのご意見を受け、一部修正箇所がありますので、ご検討いただきますようお願いします。</p> <p>ご検討いただく前に、基本構想・基本計画の概要と、基本構想の策定スケジュールを確認させていただきます。本日も配りしているA4版両面カラー刷りの資料をご覧ください。</p> <p>まず、「基本構想・基本計画の概要」をご覧ください。基本構想は、事業の大きな方向性について明らかにするもので、詳細については、来年度の基本計画に記載する予定です。そして皆様には、資料左側の「基本構想」の策定についてご検討いただいているところです。なお、来年度の基本計画策定につきましては、各種団体の代表者等で構成する策定委員会を、改めて設置して検討を進める予定としています。</p> <p>裏面の委員会開催予定をご覧ください。</p>
-----	--

	<p>本日の会議は、青字の4番、第4回会議で、修正箇所の確認、基本構想案の確認をお願いします。資料の上の方、2月から3月にかけて赤字で「パブコメ」とあるのは、本日確認していただく基本構想案を広く市民に公開して、ご意見をいただくパブリックコメントという制度のことで。現在のところ、2月14日から3月15日までの予定としています。</p> <p>その後、3月中旬以降に青字の5番、第5回会議を行い、パブコメ内容の確認、基本構想(最終)の承認をしていただく流れとなりますが、年度末のお忙しい時期でもあるので、協議が必要な場合を除き、書面でご承認をお願いする場合があります。予めご了承くださいますようお願いいたします。</p> <p>それでは、これより、井田委員長に、議事進行をお任せします。よろしくお願いいたします。</p> <p>(1) 基本構想(案)について</p>
井田委員長	では、次第に従い進行します。基本構想(案)について、事務局から修正内容の説明をお願いします。
支援事業者	(資料1に基づいて、基本構想(案)の修正内容を説明)
井田委員長	ありがとうございました。何か質問はありますか。 なお、会議録作成のため、お名前を言っていただいてからご発言をお願いします。
合田(史)委員	41ページに、舞台はプロセニウムで様々な演目に対応できる十分な広さと書いているが、「十分」が何を指すのかわからない。たとえば、歌劇をやるのに十分な広さなのか、宝塚を呼ぶのに十分な広さなのか。10cm幅が足りなかったから宝塚が呼べなかったということになると、お金をかけたが何もならなかったということになり兼ねない。具体的に、何と何を行うことをもって十分な大きさとするのかに改めてほしい。
事務局	基本構想(案)ということで内容を説明しましたが、このような催しをするので、この大きさという、最終的なホールの規模がまだ決まっていません。基本計画の中で、どのような使い方をして、どれくらいの広さを確保するのかを定めていくこととなります。今のご意見は承りました。
井田委員長	今の説明でよろしいですか。
合田(史)委員	はい。
原(恭)委員	毎回規模にこだわって発言している。これまでの説明を聞いていると、外から人を呼んでくることを前提としているように感じる。むしろ、今回の施設は市民のためのホールであり、市民がどのように使うかという観点をもう少し入れて、規模を検討した方がよいのではないか。
事務局	先ほどの資料の中でも説明しましたが、市民アンケートでも、現状の規模以上を希望す

<p>原(恭)委員</p>	<p>る意見が多い結果となっています。また、当然、市民の利用が基本になりますので、その点も踏まえて、基本計画の中で検討したいと考えています。</p> <p>外から人を呼んでくるといっても、しょっちゅうは呼べないと思う。いろいろな団体やイベントで使うことをまず考えた方がよい。</p> <p>1980年代、1990年代、箱モノ行政によって日本各地で失敗してきた。立派なものを作ってきたが、その後利用できない。人を呼べない。経済効果もあまりない。新居浜市にいくらお金が落ちるのかは、計算したら大体わかる。外から1,000人の入場者があり、1人あたり10,000円のお金を落とすとしても、1年間で数億円～10億円。新居浜市の4,000億円～5,000億円の経済規模からすると、1パーセント以下にすぎない。それぐらいの効果しか出ない。全国でたくさん失敗している。作るからには、私たち自らが使うということを中心に考えた方がよい。</p>
<p>井田委員長</p>	<p>ありがとうございます。他にご意見はございませんか。</p> <p>(意見なし)</p>
<p>井田委員長</p>	<p>他に意見がないようであれば、「基本構想(案)」については、本日の皆さまからのご意見も踏まえていただき、パブリックコメントを実施していただくようお願いします。</p> <p>(2) その他 基本計画策定に向けての要望について</p>
<p>井田委員長</p>	<p>次に、その他に移ります。</p> <p>先ほど、事務局から、パブリックコメント後の第5回会議は、協議が必要な場合を除いて、書面開催の場合もあると説明がありましたが、皆さま、よろしいでしょうか。</p> <p>年度末ということもあり、皆さん忙しいとも思います。今回の会議が最後になるかもしれませんがいかがでしょうか。</p>
<p>各委員</p>	<p>(異議なし)</p>
<p>井田委員長</p>	<p>ありがとうございます。それでは、本日が最後の検討委員会になるかもしれませんので、今後の詳細な計画策定の参考にしてほしい要望等がありましたら、細かいことでも構いませんので、是非ご発言いただければと思います。</p> <p>どなたからでも構いません。いかがでしょうか。</p>
<p>好井委員</p>	<p>先ほどは舞台の設備や客席の話があった。先月の委員会には所用で参加できなかった。市役所の桑原さんには3回目の資料を事前にいただき、感想をメールで送らせてもらって、議事録でも紹介してもらった。</p> <p>今回は最後かもしれない、来年度以降、基本計画に基づいた委員会が開かれるということだが、メールで送った中に、議事録には掲載されなかったのだが、この施設の建設費、アバウトでもよいので決まっているか。建設費によって規模も変わってくると思う。皆、</p>

	<p>夢話のような話が出ているが、建設費がこれぐらいとなると、ここで出た要望の半分ぐらいが通ればいいということにもなり兼ねない。建設費はいつの段階で出てくるのか。それに基づいて細かなことも決めていかないといけないが、予算枠がいつごろ出るのかを教えてくださいとありがたい。</p>
支援事業者	<p>建設費が非常に高騰しており、1年前の1.3倍、1.4倍にもなっている。出すことはできるが、今出してもあまり意味がない状況にある。今後、工事が始まるまでにどうなっていくのか、誰にも分からない状況にある。基本計画の段階では、どれぐらいの事業費になりそうかという点も含めて、検討自体は行っていく。</p>
井田委員長	<p>今の説明では雲をつかむような話で、少しわかりにくいかもしれませんが、他に意見があればお願いします。</p>
奥本委員	<p>前回欠席して、意見を紹介してもらった。新居浜高専の学生が文化センターや中央公園に日ごろ来て、くつろいだりしているかということ、そういうことはほとんどない。どのような施設があれば、中高生が日常的に足を運ぶ場所になるかをずっと考えているが、アイデアが浮かばない。文化センターの中に、交流学习スペースなど学生が使えるスペースを設けてもらうことになると思い、それ自体は楽しみにしているが、場所だけあっても学生が毎日来る場所にはならない。毎日メンテナンスされていて、学生が行くと話を聞いてくれる人が必要な気がしている。建物ができてから先の話になるが、場所をどう作るかということに加えて、どう運営すれば学生がくる場所になるかを考えてもらえるとありがたい。</p>
井田委員長	<p>利用する学生が活用できるスペースがあるとよいということと、またそこを運営するスタッフなどがあればよいという意見でした。他にもあればお願いします。</p>
戸田委員	<p>前日も誰か話していたと思うが、高層建てにしてはどうかという話がある。それもいいと思うが、私としては駐車場をどうするかが気になる。その辺も考えてもらえるとありがたい。少し心配になった。</p>
井田委員長	<p>駐車場の件は皆さん心配していることで、限られた土地の中で、駐車場をいかに確保するかも大きな問題だと思います。</p>
田坂委員	<p>以前も話をしたが、学校に行きにくい子供たちが増えている状況にあるため、そのような施設が手狭にならないようにしてほしい。原委員がおっしゃっていたが、いろんな団体があり、いろんな意見があると思うが、新居浜市としてそれらが集約された文化センターになればよいと思っている。</p>
加藤委員	<p>数回しか出席できていないが、皆さんの意見を聞いていて、委員長も言われたように、雲をつかむような感じがして、意見を言っても通らないのではと思っている。大体これぐらいという予算があると思う。このタイミングでこれだけの金額をかけて、今年度、基本</p>

	<p>構想を考えて、来年度に基本計画に移るとのことだが、このタイミングというのは、国の補助か何かも関係するのではないかと思う。補助金が出るか出ないかわからない状況なのか。</p>
事務局	<p>今のところ、確保している予算はありません。基本構想を立て、基本計画を立てつつ、構想の中で検討したエリアデザインなどを関連させて、どのような補助金を獲得できるかなどをこれから考えていきます。また、民間が参入できるかどうかもこれからになります。</p>
加藤委員	<p>私は素人なので、こういうのがいいなと思う中での話だが、いろいろと話を聞いて、隣の市の事例を聞いて、新居浜市らしいものが何かというと、席数云々ではなく、オーケストラだけに特化したようなもの、それぐらい斬新なことをやっていかないと生き残っていけないのではないかと。他の団体もあるので、学校にいけない子どものためにというものもあるが、それはそれで考えるとして、もっと特化した、もっと突っ込んだようなことをしないと今後残っていけない。1,000人規模のロックコンサートを呼ぶなら西条でいい。今後、若者が減り、人口も減っていくという状況であれば、他では呼べないオーケストラを呼ぶ、そのようなところに特化した方がよいと思う。</p>
井田委員長	<p>委員の皆さんのいろいろな意見を聞くことにより、本会が有意義になります。他にありませんか。</p>
合田(史)委員	<p>芸術性や専門性ということはお金には代えられない。文化ということを見ると、費用対効果で割り切っているのか。人間の心がどれだけ豊かになっていくかということはお金では換算できないということを前提にしないと、こういう施設は作れないと思っている。どれだけお金が掛かるとしても、これだけはやっておきたいということを私たちが決めておかないと、結局、費用対効果でこれだけのものしか作れないということになれば、元々そんなものは必要なかったということになる。文化はお金で買えないということを心に留めて計画を作してほしい。</p>
井田委員長	<p>お金には代えられないものがあるというご意見でした。他にご意見はありますでしょうか。</p>
妻鳥委員	<p>私はこのホールをよく使っている。外から人を呼ぶとしても、中途半端なものはいらない。典型例は野球場。そうならないようにぜひお願いしたい。大ホール・中ホールを兼ねた一体のものを作るという構想になっているが、どこに出しても、どこから見ても恥ずかしくないものにしてほしい。外観も重要で、音響や照明は後からでもできるが、箱をきれいに造ってもらって、できるだけのことをやってほしい。</p>
井田委員長	<p>どんなホールができるのか、文化センターに期待をもって参加したメンバーだと思いますので、一度も発言したことがないようであれば、一言でも発言して帰ってもらいたいのですが、いかがでしょうか。</p>

篠原(和)委員	<p>委員会に参加する前に生徒たちにアンケートを取ってみたが、アンケートの答えが、基本構想には当てはまっている。おそらく厳しいお金の面や制約は出てくると思うが、できるだけ頑張って、基本構想に近づけるようにしてもらえば、中学生たちも喜んでくれると思う。</p>
井田委員長	<p>これからは、中高生の若い人たちがどんどん使っていくことになると思うので、今後の若者たちに私たちが残せるものという考えで、進めていければよいと思います。</p> <p>せっかく今日のような会議の場をもって、話し合いを進めて決めてきたのに、できあがったら、え？という期待外れにならないように、期待以上のものができればいいと皆さん思っているでしょう。現実的には予算等のいろいろな制限があって、その中でいかに限られた予算で、皆さんが目指すものをつくっていくか。険しい道のりだとは思いますが、基本構想という第一歩、あくまで今の時点は希望だと思えます。予算などはわからないので、委員会のメンバーの希望はこんなものを作ってほしいということでもいいと思っていますが、いかがでしょうか。</p>
合田(定)委員	<p>予算のことも考えないといけないが、1,200～1,500席、親子席、ステージの広さも長さも十分に確保して、万全を期した施設にしてほしい。現状を見ると、あかがねミュージアムはあかがねミュージアム、マイントピアはマイントピアという個別の活動になっているが、将来のことを考えると、あかがねミュージアム、マイントピア、新しい市民文化センターが力を合わせて、地域・郷土の魅力の発展に向けて、スクラムを組んで観光客を増やす一大プロジェクトをつくったらいいのではないか。お城や温泉が無くても、全国から観光客が来てくれるという活動を目的として検討していけば、将来的には、移住者もたくさん来て、国際交流もできるのではないかと思う。</p> <p>前々回、奥本委員の意見を受けて、宮崎先生が岡山の「えんぴつの家」の話をしてくれた。私たちも西条や四国中央市の事例を見た。共通するものが何か見てみると、ロビーがものすごい広くとられている。ロビーに子ども用の本を置いたり、作品を展示したりして、子どもたちや親同士が交流できるようなロビーにしていきたい。事務局が正面にあり、人の動向も監視できる。市民の中には、あかがねで展覧会をするには少し敷居が高い、簡単にできるならそこでやらせてほしいという考えの人もたくさんいるので、生きがいの面からも市民のためにロビーを活用してもらいたい。そういうことを考えると、ロビーを広くとってもらいたい。世代間交流、おじいちゃんやおばあちゃんにいろいろなことを教えてもらう。のこぎりやかんなを使って木工や竹細工を作る、工作室のようなものを会議室の一つに入れ、子どもたちのために工作室を作ってもらえるとよい。</p>
篠原副委員長	<p>新居浜市文化協会の両副会長、戸田部長の3人が発言された。まとめて発言してくれたと思っている。そのような中で、1,200～1,500席ということも示してもらった。新居浜文化協会として、それぐらいはほしい。子どもたちの件、先日開かれたあかがねミュージアムの展覧会、未就学児を狙ったことが成功している。子どもたち向けの絵であった。五味太郎さんの展覧会、非常に成功していた。</p> <p>奥本委員もおっしゃっていたが、学生たちが集まる、子どもたちが集まる、老若男女が</p>

<p>梶本委員</p>	<p>集えるような場所になってもいい。これからは少子化もあるし、子どもたちが大勢育っていくことにはならないが、誇れるような文化センターにしてもらえると非常にありがたい。</p> <p>郷土芸能保存会は発足35年を迎えて、文化センターを練習で愛用してきた。新しくなるということで楽しみにしている。週1回ぐらいの頻度で文化センターを利用している。利用者の立場から話をさせてもらおう。</p> <p>私たちだけでなく、吹奏楽や合唱などさまざまな文化活動をしている団体の人、楽器や音楽に関わっている人がたくさんいる。そういった人たちが大所帯になればなるほど、困るのが練習場所である。特に、吹奏楽の団体は、楽器のこともあるし、大所帯になればなるほど、駐車場の確保も難しくなる。新しい文化センターは、大ホールの大きさもそうだが、ホール以外にも楽器の練習ができる場所、リハ室はすでに出ているが、その他に練習室、楽器の練習をしても音が外に漏れない場所を確保してほしい。最近ではダンスの団体も増えており、よさこいの団体も市内に2~3つある。学生もそのような中に入ってくると思う。文化センターの駐車場で、鏡に自分の姿を映して練習している人も見るので、そのような人たちが大きな音を出して練習しても、迷惑をかけないような練習施設をぜひ設けてほしい。</p> <p>あとお金の話が出たが、現在、文化センターの大ホールでも中ホールでも、ステージのみを利用する場合は、かなり割引してもらっている。使用料の3割負担でいいという話になっているので、練習施設として使っている我々にはとてもありがたい。ぜひ継続してほしい。</p>
<p>井田委員長</p>	<p>一昨日あかがねミュージアムを訪れたが、五味太郎さんの展覧会にはたくさんの方が来ていた。いろいろなイベントをする中で、私には孫がいるが、お昼寝美術館を開催していて、それがとても良くて、2回・3回と何度も行ったらしい。そこで自由に寝転がったり、絵本を読んだり、すごい居心地がよかったようだ。あかがねミュージアムは、外から見てもおしゃれで、駅の近くで交通の便もよい。駐車場が狭いという難点もあるが、カフェがあり、子どもたちが興味を持つ太鼓台が展示されていたり、ショップがあったりして、半日ぐらいは楽しめる場所かと感じた。</p> <p>各保育園が月替わりで作品を展示している。出入口近くのショーケースのような場所に、アィムリトルクリエイターとして作品展示をしていて、保護者が足を運んでいる。そういった面で、あかがねは非常にうまくいっている気がする。あかがねはあかがねの運営を頑張っているのだから、そういう部分は任せるとして、新しい文化センターについては、あかがねとは別の役割で、ここでしかできないようなこと、これから先の話にはなるが、運営や活用について皆さんで考えていく形になると思う。新しい新居浜の目玉、文化センターができたことで、周りにもいろいろなスポットができ、新居浜の中心地の目玉になるのではないかと期待を込めている。</p>
<p>井田委員長</p>	<p>さまざまなご意見をいただきましたが、他にないようであれば、この辺で終わりにしたいと思いますが、他に言っておきたいことは無いでしょうか。</p>

	(意見なし)
井田委員長	<p>他に無いようなので、本日出席いただいている、アドバイザーのお二人から、全体を通してご助言をいただければと思います。</p> <p>まず、木村先生からお願いします。</p>
木村 アドバイザー	<p>4回参加させてもらい、新居浜で文化を担っている人、育成している人、それを応援している方たちの意識の高さに驚かされ、私自身勉強させてもらった。今回一番感じたことは、文化会館ではなく文化センターとしての役割を担うものを構築しようとしている点で、松山市とは大きく異なっていると思う。</p> <p>松山には市民会館があり、カメラシアホールがある。演奏、演劇などのホールとしての役割が中心で、合間を縫って、先程委員の方から話があったが、練習する会場としても貸し出す形になっていると思うが、子どものための施設、今回の策定の中に老若男女が集えるような、そうした部分を活かした文化センターがきっとできるのではないかと期待している。</p> <p>一つ危惧することは、専門性に特化したという話があって、それは素晴らしいことであると思うが、たとえばヨーロッパを見ると、オペラはオペラハウス、完全にオペラを演劇するための劇場として独立している。その形態は、国立系もあれば市が運営しているところもある。そのほとんどは採算が合わず、国や自治体の補助によって運営されているという状態である。具体的な話をすると、ミラノのスカラ座を一例に挙げてみると、もちろんいろいろな市民からの支援もあるが、あれだけ世界的に有名なオペラを演じようとする、年間に演奏できる演目の数が、大ホールと小ホールを合わせても、20演目あるかないかである。連日演奏されているかということではなく、月の半分が演奏されるかどうかという状況である。</p> <p>オーケストラはどうかというと、ウィーンの国立のオーケストラ専門ホールがある。まったく構造が違う。オペラとオーケストラでは専門が違う。特化の仕方をどこまで許容するかということも、実際にどんなものをつくるかというときに非常に大きな問題になる。</p> <p>前回も申し上げたがそれを維持していくためには、自治体の力だけでは難しい。金銭とともに人材も、市民がどれだけサポートできるか。これがこれから大きな課題になると思うが、皆さんの意見を聞いていると、知恵を出し合えば解決する方法が見つかるのではないか。新居浜市民の方がどんなホールにしたいかということ、今日の話し合いにあったようなことが、皆の中で共通項として持つということが非常に重要と感じた。大変勉強させてもらった。ありがとうございました。</p>
井田委員長	<p>続いて、宮崎先生、お願いします。</p>
宮崎 アドバイザー	<p>金銭的な意見がよく出た。100億円なら100億円で作って、新居浜市がそれを維持していくのに年間10～15億円ぐらいかかる。英国のエジンバラで毎年音楽祭が開催されているが、10億から15億、あるいは20億円かかる。すごい世界的なイベントで、建物を建てないで毎年20億円かけてフェスティバルをやれば、新居浜市にいろんなお金を落としてくれるのではないか。この話は論外だと思うが、とにかく箱ものを建てると維持費が結構</p>

	<p>掛かるので、それを覚悟してやらないといけない。</p> <p>お金のことを簡単に言ったが、その中でどうするかということで、今日の意見を聞くと、私は個人的には実現しないと思うが、文化芸術センタービル、駐車場のこと、ホールのことを考えるとそれしかない。そこに皆がたくさん集まることを考えるとそれしかない。ただ一言いいたいのは、高松サンポートホールもそうだが、駐車場は有料にしないといけない。たとえ100円でも取った方がいい。サンポートは高すぎるが、少しでも取った方がよい。練習場もぜひ作ってほしい。サンポートの料金は1時間200円で非常に好評で、管楽器の人やロックの人やジャズの人が集まって、それぞれ練習している。これが、先程の若い人たちが集まるという一つの理由になるのではないか。</p> <p>商業施設があると、そこに少し寄って食べようかとなるので、あってもいい気はする。他の国のことで恐縮だが、ドイツでは、夕方の4時ごろからミュージクシュールがある。これは、学校から帰ってきた子どもたちを預かる施設で、町が運営している。ミュージクシュールの中に先生方がいて、通うのは子どもだけでなく、老人も来ている。世代を超えた人たちが来て、ここで音楽の勉強をしており、世代間交流もある。「えんぴつの家」もそうだが、ここに少し寄るといいものではないか。ぜひいろいろな施設を勉強して、いいものを作ってもらえればよい。出過ぎたことを申し上げたが、参考にしてもらえたらと思う。</p>
井田委員長	<p>貴重なご意見、ありがとうございます。最後に事務局から何かありますか。</p>
事務局	<p>本日は、貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。</p> <p>パブリックコメントの情報は、市政だより2月号に掲載し、基本構想案と概要版は、市ホームページや各公共施設で閲覧できるようにしますので、それぞれの団体の中もお伝えいただければ幸いです。</p> <p>本日で、お集まりいただくのが最後となる場合もあります。これまで4回の会議、2回の視察研修にご参加いただきましたこと、改めて感謝申し上げます。</p> <p>本当に、ありがとうございます。</p> <p>以上です。</p>
井田委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>以上で本日の会議を終了します。皆さま、ご協力ありがとうございました。</p> <p>以上</p>